

小浜特別生産組合 秋作ばれいしょ 栽培農薬基準

削減目標	慣行5割減以上	回数		備考		
慣行栽培	化学農薬成分使用回数	13	回	特別栽培農産物生産に係る節減対象農薬使用基準回数	基準作型	秋作8～12月
計画	上限化学農薬成分使用回数	6	回	上限回数		

●殺虫剤

農薬名	成分	含有量 (%)	成分回数	アブラムシ	ヨトウムシ	ジャガイモガ	ジャガイモシチュウ	ネキリムシ	オオタバコガ	希釈倍率	収穫前日数	使用上限回	備考
アドマイヤー水和剤	イミダクロプリド	10.0	1	●						1000～3000	14	2	100～300L/10a
トレボン乳剤	エトフェンプロックス	20.0	1	●						1000	14	3	
DDVP乳剤50	DDVP	50.0	1	●	●					1000～2000	前日	6	
エンセダン乳剤	プロフェノホス	40.0	1	●	●					1500	7	6	テントウムシダマシ
ラービン水和剤75	チオジカルブ	75.0	1			●				1000～1500	7	5	発生初期,ボルドー液との混用は避ける
プレオフロアブル	ピリダリル水和剤	10.0	1					●		1000	7	2	速効性
ランネット45DF	メソミル	45.0	1	●		●				1000	7	5	速効性
バイデートL粒剤	オキサミル	0.8	1				●			30kg/10a	植付前	1	全面土壌混和
ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン	5.0	1					●		4～6kg/10a	植付前	1	ケラ,全面土壌混和及び作状土壌混和

●除草剤

農薬名	分類	含有量 (%)	成分回数	一年生雑草						希釈倍率	収穫前日数	使用上限回数	備考
ゴーゴーサン乳剤30	ペンディメタリン	30.0	1	●						70～100L/10a	植付後～萌芽前 (雑草発生前)	1	全面土壌散布200～300ml/10a
ゴーゴーサン細粒剤F	ペンディメタリン	2.0	1	●						4～6kg/10a	植付後～マルチ萌芽前 (雑草発生初期)	1	全面土壌散布

小浜特別生産組合 秋作ばれいしょ 栽培農薬基準

削減目標	慣行5割減以上		回数	備考		
慣行栽培	化学農薬成分使用回数		13回	特別栽培農産物生産に係る節減対象農薬使用基準回数	基準作型	秋作8～12月
計画	上限化学農薬成分使用回数		6回	上限回数		

●殺菌剤

農薬名	分類	含有量 (%)	成分回数	疫病	軟腐病	そうか病	青枯病			希釈倍率	収穫前日数	使用上限回数	備考
ランマンフロアブル	シアゾファミド	9.4	1	●						1000～2000	7	4	予防剤100～300L/10a
カーゼートPZ水和剤	シモキサニル	12.0	2	●						600～800	7	4	石灰硫黄合剤,ボルドー液との混用は避ける 100～300L/10a
	マンゼブ	65.0											
ホライズンドライフロアブル	シモキサニル	30.0	2	●						1000～2500	14	4	石灰硫黄合剤,ボルドー液、アルカリ性農薬との混用は避ける。100～300L/10a
	ファミキサドン	22.5											
リドミル銅水和剤	塩基性塩化銅	75.6	1	●						400～600	14	3	塩基性塩化銅はカウントしない
	メタラキシル	8.0											
フロンサイド水和剤	フルアジナム	50.0	1	●						1000～2000	14	4	予防剤100～300L/10a
エムダイファー水和剤	マンネブ	75.0	1	●						400～650	14	7	予防剤
リドミルMZ水和剤	マンゼブ	55.0	2	●						500～750	7	3	高温時葉害注意
	メタラキシル	10.0											
フェスティバルC水和剤	ジトモルフ	15.0	1	●	●					400～600	14	3	塩基性塩化銅はカウントしない 治療効果少,100～300L/10a
	塩基性塩化銅	58.8											
フェスティバルM水和剤	ジトモルフ	12.0	2	●						500～1000	14	3	予防剤 100～300L/10a
	マンゼブ	50.0											
アグリマイシン100	オキシテトラサイクリン	1.5	0	●	●					1000～1600	3	5	種芋処理は1回40～100倍 抗生物質のためカウントしない
	ストレプトマイシン硫酸銅	18.8											
プロポーズ顆粒水和剤	ベンチアバリカルブイソポロビル	5.0	2	●						1000	7	3	予防治療剤 100～300L/10a
	TPN	50.0											
リライアブルフロアブル	フルオピコリド	5.5	2	●						800～1000	7	3	予防治療剤,効果◎ 100～300L/10a
	プロパモカルブ塩酸塩	55.5											
Zボルドー	塩基性塩化銅	58.0	0	●	●					500	-	-	塩基性塩化銅はカウントしない
ナレート水和剤	オキシリニック酸	10.0	2		●					600～1000	14	5	種芋浸漬は1回以内 予防剤
	有機銅	50.0											
スターナ水和剤	オキシリニック酸	20.0	1		●					1000	7	5	種芋浸漬は1回以内
キンセット水和剤80	銅	20.0	1		●					1000～1400	14	5	銅はカウントしない
	有機銅	60.0											
マテリーナ水和剤	オキシリニック酸	10.0	2		●					1000	7	3	銅はカウントしない
	ストレプトマイシン硫酸銅	12.5											
ネビジン粉剤	フルスルファミド	0.3	1			●				60kg/10a	植付時	1	全面土壌混和
										30kg/10a	植付時	1	粉状そうか病,作状土壌混和
ドロクロール	クオルピクリン	80.0	1			●	●			3～6ml/穴	植付10日以上	1	センチュウ,雑草

※表中の農薬を基準に病害虫の発生時期に応じて薬剤を散布する。又、上記以外の薬剤は散布しない。